

令和3年 月 日

府中市長 高野 律雄 様

府中市環境審議会
会 長 金子 弥生

第2次府中市環境基本計画及び府中市地球温暖化対策地域
推進計画中間見直し後の進捗状況について（答申）（案）

令和2年8月17日付2府生環第199号で諮問のあったことについて、当府中市環境審議会の意見は、別紙のとおりです。

1 第2次府中市環境基本計画（環境行動指針）の進捗状況について

平成26年度を初年度とする第2次府中市環境基本計画につきましては、平成26年度から平成30年度の進捗状況を本審議会に報告いただき、概ね順調に進捗しているとの判断をいたしました。

今般、令和元年度の進捗状況におきましても、審議の結果、概ね順調に進捗しており、環境行動指針、個別目標等の見直しは不要であると判断いたしました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な施策に大きな影響を与えていることが見受けられます。このコロナ禍の下、新しい生活様式に対応し、可能な限り施策の継続を図るよう、要望いたします。

また、市の施策の取り組みに係る評価と、市民満足度等が連動していない目標につきましては、進捗状況や社会情勢の変化とともに、これらが基本方針や個別目標の達成に則するものであるか否かについて、ご検討いただくことを要望いたします。

2 府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について

府中市地球温暖化対策地域推進計画につきましては、平成29年1月に中間見直しを行っております。

中間見直しにおいては、6つの重点プロジェクトに基づき、その各プロジェクトの中から「モニタリングメニュー」としての指標を選定し、毎年市民アンケートなどで進行管理を行うこととしており、省エネ行動の取組率等は有効な指標として活用されるべきものと考えております。

アンケートの内容及び手法については、原則、毎年同一の方法で実施することにより、適正な進行管理が行われるべきものと考えますので、重点プロジェクト等を確実に推進していくためにも、引き続き市政世論調査を活用し進捗管理を行うよう求めます。

令和元年度におきましては、項目の大部分は目標に向けて上昇しているものの、目標設定が高く、達成率が依然として低調な項目も見られます。また、近年の台風や大雨被害等、気候が変動をきたす状況が身近に感じられるようになってきました。地球温暖化防止を図り、最終年度の目標を達成するため、本計画における施策がより確実に推進されることを、強く要望いたします。